



学校だより

令和 2年度第 6号
令和2年 6月 3日
府中市立南町小学校
校長 島田 文江

分散登校を振り返って

校長 島田 文江

今週の半分を折り返した時、子供たちの元気そうな顔を見られたことが非常にありがたかったです。たった2日間ではありましたが、新しい担任や友達と、懐かしい担任や友達と「はじめまして」「よろしくね」の顔合わせができました。今週と来週の分散登校で、子供たちには、無理なく学校生活に馴染んでほしいと願っています。4年生の子供たちが「みんなが集まっていつもの学校が始まったらしたいこと」を考えてくれたようです。ご紹介します。すぐにはできないこともあります、叶えてあげたいことばかりです。

- ・外遊びを思いっきりやりたい。・休み時間が楽しみ!
- ・友達とたくさん話したい。クラブ活動をしたい。みんなでいろいろな勉強をしたい。みんなで歌いたい。
- ・図工で何かを一緒に作りたい。長縄やドッチボールをしたい。



【昇降口より入る】 【各教室には担任からのメッセージ】 【会話で表情を確認】 【体育館からさようなら】

しかし、1割の児童が「健康観察表」を持たずに登校していました。今後しばらくは、体調チェックの継続が重要です。昇降口から入る時に、すぐに取り出して担当教員に見せられるように、ランドセルの分かりやすい場所に子供たち自身で「健康観察表」を入れさせてください。健康観察表の提出がない場合は、非接触型の体温計を用いて37度を目安に測ります。37度を超える場合は、念のために通常の体温計を使って計測します。発熱と共に、本人やご家族に発熱や咳といった風邪の症状が見られる場合には、ご自宅に連絡してからお子様をお帰しすることにします。朝の慌ただしい時間帯ではありますが、ご協力をどうかよろしくお願いいたします。(詳細は、ホームページ上の6月3日付けの市教委発信の資料から、ご参照ください。)

【身の回りの安全に気を付けよう】

緊急事態宣言が解除され、分散登校が始まったことを受けて、子供たちが外で活動する機会が増えました。子供たちをとりまく危険には、交通事故、不審者、災害等があります。子供の安全を守るために、学校だけでなくご家庭でも声掛けをお願いいたします。